

華麗なる図書館利用者のための

Cool Librar

クールリブラ

講座

カジのひねもすハイスクール純情派

文 / カジ

他のクラスの発表は…

本文では3組までの発表しか記載しなかったが、実際は9組まできっちりとし出まものの発表が行われた。そしてそれぞれのクラスの出しものが大ウケするわけでもなく、終始低めのテンションで展開されていったのだ。このゆるめの地獄がずっと続く感じは、今後の高校生活を暗示するものであった。

【前回までのあらすじ】
高校入学後まもなく訪れたオリエンテーション合宿。辞書によると、オリエンテーションとは「その事柄についての進路・方針を定めること。また、それが定まるようにしてやること。方向づけ」だそう。カジにとってこのオリエンテーション合宿は、文字通り今後の高校生活の方向性を占う一大イベントになりつつあった。クラス毎の出しもので我々3組は、バーマンの主題歌を歌うことになっていたのだが、そこにブービーことバーマン2号がサプライズで登場するというものであった。そしてそのブービー役は、笑いの天才カジではなく、フナツという16歳の凡人が演じることになっており、カジとしてはフナツには大いにスベってやらなければならなかったのだ。今これを書いていて素直に思う、外道である。

負けないこと逃げ出さないこと投げ出さないこと信じぬくこと
ダメになりそうなきときそれが一番大事♪

かくのごとく始まったオリエンテーション合宿。本文とは関係ないが、このオリエンテーション合宿という言葉が、実に11文字も稼げることにふと気づいてしまった。原稿締切をとくに過ぎているリアルカジにとつて、これは非常に強力な武器なのだ。さて、オリエンテーション合宿は滞りなく進み、いよいよクラス毎の出しもの発表の時間が訪れた。発表順は1、2、3↓9組と、何のひねりもない順番だ。

1組の発表… 覚えてないので省略。
2組の発表。これがすごかった。当時流行っていた大事マンブラザーズバンドのそれが大事（今回のタイトルの歌詞のやつ）なを歌いながら行進するという、やつつけ感満点の5分間。あまりに痛々しすぎて、多くの生徒が「床を見つめる」という回避行動を取らざるを得ない状況。無駄に賑やかなお通夜、そんな表現がびびったり空気に感であった。合掌。

さて、いよいよ3組の発表。この冷え切った空気も、カジにとってはむしろ大歓迎！フナツのスベリ率が上がるのであれば、お通夜もウエルカムだ。フナツが登場するのは主題歌の2番。「バーマンはそこにいる♪」というサビに合わせてみんなで会場の出入口を指さすとフナツブービーが現れるという演出だ。本番開始。イントロが流れるとみんながクスクスと笑い始める。ややウケといったところだ。1番を普通に歌い、若干のお通夜感が漂う。2番、Aメロ、Bメロ、Cメロと進み、サビへ。バーマンはそこにいる♪」でフナツ登場…

ウケた（涙）！

その理由はわからないが、とにかくまあまあウケた。死んだ俺。